

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	菩提樹デイサービスセンター 「風と樹々と空と」
------	----------------------------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

平成30年8月29日

③事業者情報

名 称： 菩提樹デイサービスセンター「風と樹々と空と」	種 別： 通所介護
代表者氏名： 理事長 大木 隆	定員（利用人数） 34名
所在地： 〒873-0013 杵築市大字日野1921番地の7	
TEL： 0978-64-0500	

④総評

◇評価の高い点

○【理念、基本方針が明文化され周知が図られている。】

理念や方針は、法人や事業所が実施する福祉サービスの内容や特性を踏まえた使命や目指す方向となっており、理念・方針等が整理された「職員服務心得」は職員の行動規範として具体的内容となっている。理念や方針の周知については、パンフレット・ホームページに掲載すると共に玄関、スタッフルームに掲示している。職員は毎日朝礼で唱和し継続的に周知している。家族等には、相談員がパンフレットにより説明周知を行っている。

○【職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。】

働きやすい職場づくりに向けて、介護休暇等法人本部が推進する体制を構築し、正規職員については年2回、臨時職員については1回個別面談を実施している。職員の就業状況や心身の健康状態の把握に努めている。セクシャルハラスメントなどの啓発掲示物については、職員が一番目に入る場所を相談して掲示している。職員向け3B体操を実施するなど魅力ある職場づくりを進めている。

【職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。】

振り返りシートにより個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を本部と共に把握している。法人として、特筆する点として、新任職員については、年間チューター、メンターを付け、職員一人ひとりについて、実践的な教育・研修養成を実施している。

○【利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。】

利用者を尊重した福祉サービス提供については、法人、施設で倫理綱領や基本的人権への配慮などの内容が整理された「職員服務心得」に明示している。施設内研修や市が実施する人権研修会に参加している。

- 【利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。】
アセスメントにて利用者の状況や、生活習慣、暮らしの意向などを把握し、なるべくその人の興味や希望に添えるようなレク活動や趣味活動を準備している。
- 入浴、排せつについてはプライバシーに配慮した標準的な実施方法、通所介護計画に基づいたサービスを実施している。特に衛生と臭いに配慮し、30分おきに見回り、手すり消毒や防臭などにより快適な空間を整えている。
- 【利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。】
口腔に関するアセスメントを行っている。食事前の口腔体操、食後の口腔ケアを実施している。
- 【認知症高齢者が安心・安全に生活できるよう、環境の整備を行っている。】
個人ロッカーの場所を定位置にし利用者の安心や落ち着ける環境となるよう配慮したり、フロアをブロックに分けブロック毎に担当する職員が責任を持ち利用者の安全に配慮するようにしている。
- 【利用者の心身の状況に合わせ機能訓練や介護予防活動を行っている。】
一人ひとりに応じた機能訓練のプログラムを作成し、実施、評価、見直しを行っている。
- 【利用者の体調変化時に、迅速に対応するための手順が確立している。】
緊急時マニュアルを作成しており、利用者の体調変化時に迅速に対応するための手順を確立している。
- 建物、設備に対するメンテナンスは定期的に行い、職員全員で利用者が一日快適な時間を過ごせるよう涵養や雰囲気づくりに配慮している。
- 連絡帳を活用し、家庭とデイでの様子をやり取りしている。利用者と離れて暮らしている家族には電話でやりとりしたり、帰省した際に話をするなどして家族との連携を適切に行っている。

◇改善を求められる点

- 【事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。】
事業計画の主な内容については、施設新聞（つつじの丘）等の活用を行い、家族等に分かりやすく伝える工夫を期待する。
- 【福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。】
在宅・地域支援課として、中期計画にある「地域貢献事業を推進する」計画について、さらに具体化へ向けた協議を期待する。
- 【感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。】
マニュアルの整理を行い、定期的な見直しを行うことが望ましい。
【災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。】
送迎時など、施設外でのサービス時間帯に想定される災害時の対応体制についても整備

することが望まれる。

○【褥瘡の発生予防を行っている。】

褥瘡発生予防についての標準的な実施方法を確立しさらなる取り組みを期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

この度は、第三者評価をしていただき誠にありがとうございました。前回の受審から3年が経ち福祉サービスとは、組織とは、何なのかを再度見直す良い機会になりました。

今回の受審結果を踏まえ、新たなスタート地点とし、評価の確認、業務内容、手順の見直し改善を行い今以上の質の高いサービス作りを目指していきます。

また、地域との繋がりを大事にし、地域に根付いた福祉サービスを構築していきます。安心、安全、快適に過ごせる場を提供できる様、探究心、向上心を持ち職員一同業務に邁進してまいりたいと思います。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）